

# 演出家・ノゾエ征爾に聞く

—今回は五年ぶりの再演となります。初演時、SPAC俳優との芝居づくりははどうでしたか？

当時は二期に分けて稽古したんです。第一期の稽古はもう、ずっと模索していて、そもそも「こういう作品にしよう」というプランを、僕の方では明確にしなかった。そういうチームなんだろう、何を面白いと思うのか、どこに行きたいのか、といった



ノゾエ征爾 (脚本家・演出家・俳優) 写真・ノゾエ征爾  
趣味は写真とギター。劇中歌なども自分で作り、舞台上で演奏することも。最近ハマっているのは少しずつ痩せること。「一気にやると大変だし、跳ね返りもすごいので、1日に8分半だけ走ります。」

## SPAC史上一番笑いに執着した作品にしたい

ことを感じること、そして探ることから始めたいと思ってる。だから演者さんたちは「おやおや、この演出家は具体的なことはあまり言わないぞ」と戸惑っていた時期があったかと。あるとき僕が一言「SPAC史上一番笑いに執着した作品にしたい」とボソッと云ったら、演者さんが「今日初めて演出的なことを言ってくれた気がする」と。(笑)

—舞台で「笑い」を作るときに大切にしていることはありますか？

いわゆるお笑い芸人さんがやられるような笑いには、踏み込むべきではないと思っています。まずドラマや役柄の置かれてる状況が優先で、その結果としての笑いというか。常に意識しているのは、登場人物たちが切実であるということ。なので、「笑い」というより「滑稽」かも。漏れ出る滑稽さ。それが「いとしみ」になっていく。「滑稽」ってイコールどこか抜けてるといえるか、つまり不完全さですけど……不完全な人にこそ、僕らは人間味を感じて共感する。そういう「人間のいとしみ」というものを抽出したい。そこに自然と笑いがある。そんな感覚があります。

### 幕間

水谷脳神経外科  
クリニック院長 水谷暢秀



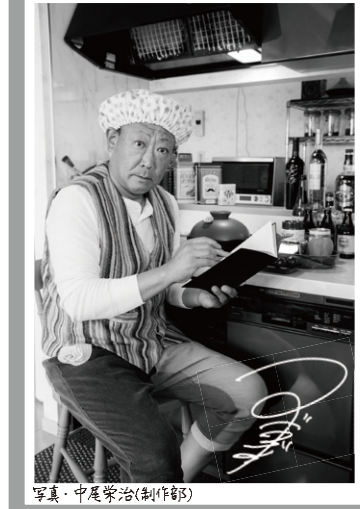
これまで二万人以上の患者さんに接して来ましたが、「病は気から」は、実在的を得た言葉ですね。

無くなりまして笑顔で帰られる方、たくさんいます。特に最近では、ネット等で多くの情報が簡単に得られ、なにか悪い情報ばかりを気にして不安を助長する方が多いです。誤った情報による思い込みは、新たな病気を発症させたり、病気を悪化させますが、逆に正確な情報による安心感、病気を快方に向かわせま



「お茶もしてから演劇体験」SPACの人気企画「リーディング・カフェ」。水谷クリニックでの開催、盛況でした！

もし身体に不安を感じたら、喜劇(悲劇?)の主人公にならないよう、まず医者にご相談しましょう！



俳優 阿部-徳の  
**無病ハ食カ!**  
体調管理も仕事のうち、気を付けています。毎食、神経質になると逆にストレスなので、適度に。むしろタイミングかな、不規則な本番時間に向けて体カ・気カ・集中力をピークにもっていくために、1つ寝て1つ起きるか、1つ食べるかは毎朝、予定を神経質にたてる。健康の為には気のおけない仲間と飲むのが一番ではないか。

## 社会学者 大澤真幸の病

病気と正常の境界線はどこにあるのか。両者の区別は、究極的には不可能だ。正常をつきつめると逆に、病気に反転してしまうことがあるからだ。

その一例を、モリエールと同時代の哲学者デカルトに見ることが出来る。デカルトは、知識の絶対に確実な基礎を求めて、精神の正常性にこだわった。自分では正しいと信じていることも、錯乱や妄想の産物かもしれない。精神が病んでいて、誤っていることを真理と取り違えているかもしれない。そのような疑いを持ち、デカルトは、自分の心の中を徹底的に精査した。彼は、心に映っていることは、悪意ある精霊の演出かもしれない、ということまで検討している。そして最後に、「私が考えている」ということだけは疑いようがなく、正常な精神の働きだと結論する。

だが、デカルトに言いたくなる。正常さを求めて、そこまで疑い続けることこそが病気だ、と。同じことは、現代の健康ブームにも言えるかもしれない。

### 編集後記

現在の「新聞」が日本に登場して約一五〇年——レイアウト、見出し、書体などなど：新聞は「情報を届ける」工夫の宝庫だと実感。編集作業は広報の原点に立ち帰る作業でもありました。(制作部 内田 稔子)

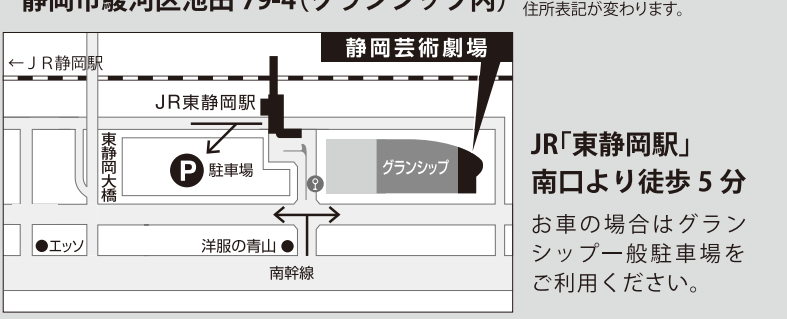
## SPAC 秋→春のシーズン 2017-2018 病は気から

一般公演日程

10/7(土)	H	B
8(日)	A	
14(土)	B	
15(日)	A	
21(土)	B	
22(日)	A	

- 関連企画
- プレトーク 一般公演日の開演 25分前より
  - はじめての演劇鑑賞講座 **H** 12:30～13:30 劇場ロビーにて  
講師：中野真希／参加無料／要予約
  - アーティストトーク **A** 終演後、演出家とゲストによるトークを開催  
(ゲストは決定次第、公式サイトにて発表)
  - バックステージツアー **B** 終演後1階ロビー集合 参加無料／要予約

### 静岡芸術劇場へのアクセス



JR「東静岡駅」南口より徒歩5分  
お車の場合はグランシップ一般駐車場をご利用ください。

◎乳幼児を連れてのご入場はご遠慮いただいております。  
親子室・託児サービスをご利用ください。  
詳細はSPACチケットセンターまたは公式サイトにて。

各日 14:00 開演  
会場：静岡芸術劇場 ※平日は「中高生鑑賞事業」公演を行っています。(日程は表面をご覧ください)

チケット料金

一般	4,100円
SPACの会 会員一般	3,400円
ペア割引	3,600円(2名様で1枚につき)
ゆうゆう割引	3,400円[満60歳以上]
学生割引	2,000円[大学生・専門学校生]
	1,000円[高校生以下]

この他、グループ割引、障がい者割引がございます。  
★静岡県内の小学生ご招待(1公演5名様まで)

- チケット発売日
- SPACの会 会員先行予約 7/29(土)10:00
  - 一般前売り 8/5(土)10:00
- 購入方法
- SPAC チケットセンター(10:00～18:00)  
TEL: 054-202-3399  
SPAC 公式サイト、劇場窓口でもご購入いただけます。
  - セブン-イレブン  
店内のマルチコピー機をご利用ください。

### SPAC 公式サイト www.spac.or.jp

主催・お問い合わせ：SPAC - 静岡県舞台芸術センター  
TEL: 054-203-5730 FAX: 054-203-5732  
E-mail: mail@spac.or.jp  
支援：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

2017年度  
**SPACの会 会員募集中!**  
「年間3公演ご招待」など特典あり

[年会費] 個人会員：10,300円  
ゆうゆう個人会員：9,300円(満60歳以上)

ふじのくに 芸術回廊  
すばらくは二十しゅーねん!  
**SPAC**  
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER  
スパック = 静岡県舞台芸術センター